

2020年9月16日
株式会社 Trans Chromosomics

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対する予防・治療用ヒト抗体の取得について

株式会社 Trans Chromosomics は、国立感染症研究所および鳥取大学との共同研究により、完全ヒト抗体産生マウス（[TC-mAb™マウス](#)）を用いて新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）や他のコロナウイルス（SARS※1 や MERS※2）に交差して結合する複数の予防・治療用ヒト抗体を取得し、特許出願したことをお知らせいたします。（特願 2020-155314、出願日 2020年9月16日）

SARS-CoV-2 に対して取得した完全ヒト抗体は 2 種類以上あり、これらの抗体の中には、これまでに論文などで報告され性能を比較可能な抗体よりも高い中和活性※3 を示すものも含まれています。現在、薬としての薬効と安全性を確認するため、これらの抗体群を用いた動物試験を進めています。

これらは SARS-CoV-2 に対する予防・治療法の確立や感染拡大の防止に貢献し得るとともに、将来新たなコロナウイルスによる感染拡大が起こった際に、感染拡大の阻止に迅速に寄与できる可能性を意味します。

本共同研究で得られた抗体が、日本発の新たな新型コロナウイルスの予防・治療薬として認められ、新型コロナウイルスによる重篤化の抑制や感染拡大の終息に貢献できる医薬品として、皆様に広く届けられるよう努めてまいります。

以上

この件に関して、お電話での問い合わせにはお応えできません。この件に関するお問い合わせがございましたら、ホームページ問い合わせ（<https://www.trans-chromo.com/contact>）、もしくは代表メールアドレス（trans-chromo[a]trans-chromo.com）へご連絡くださいませ。また全ての問い合わせにはお応えできかねますのであらかじめご了承ください。

※1 2002年に集団発生した重症急性呼吸器症候群（SARS）の原因ウイルス。

※2 2012年に発生した中東呼吸器症候群（MERS）の原因ウイルス。

※3 試験管内の試験において、ウイルスによる感染を抗体が中和する活性の強さを解析しています。